

2019年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」(博士前期課程: 108名回答)

2020.02集計

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	専攻を選択してください。	A. 理工学研究科 機能システム 23	B. 理工学研究科 生体医工学 14	C. 理工学研究科 電気電子情報 13	D. 理工学研究科 応用化学 24	E. 理工学研究科 都市環境デザイン 10	F. 理工学研究科 建築学 19				
2	学年を選択してください。	A. 1年生 52	B. 2年生 51								
3	本研究科を志望された理由を1つ選択してください。	A. 研究内容にもともと 関心を持っていたから 58	B. 研究科・専攻のシラ バスを読んでみて面白 そうだったから 0	C. 担当教員に教わり たいから 22	D. 将来就職など役に 立つと思ったから 18	E. 教員に勧められたか ら 2	F. 親に勧められたから 0	G. 先輩に勧められた から 0	H. 友達が進学するから 0	I. なんとなく 2	J. その他 1
4	大学院進学を考えるのにどのような情報が一番役立ったか、1つ 選択してください。	A. 大学院ウェブサイト 20	B. 入試案内 15	C. 研究室教員の紹介 49	D. 学内掲示物 1	E. 就職支援室 1	F. 一般の本・雑誌 1	G. その他 16			
5	大学院進学を決めた(思い立った)のはいつですか。	A. 大学入学前 12	B. 学部1年 4	C. 学部2年 4	D. 学部3年 31	E. 学部4年 47	F. 大学卒業後 5				
6	演習(輪講等)の時間以外に、当セメスタでこの演習のために一週 間に平均してどれぐらい勉強しましたか。	A. 2時間以上 77	B. 2~1時間 12	C. 1時間~30分 8	D. 30分以下 1	E. 特にしない 5					
7	指導教員は意欲的に演習(輪講等)を指導していましたか。	A. たいへん意欲的だっ た 79	B. どちらかといえば意 欲的だった 16	C. どちらともいえない 7	D. どちらかといえば意 欲的ではなかった 1	E. まったく意欲的では なかった 0					
8	指導教員は院生に演習(輪講等)への積極的な参加・発言を促して いましたか。	A. 十分促していた 81	B. どちらかといえば促 していた 15	C. どちらともいえない 6	D. どちらかといえば促 していなかった 1	E. まったく促していな かった 0					
9	この演習(輪講等)は、教員や院生同士の意見交換、発表、討論等 により、活発な演習だったと思いますか。	A. たいへん活発だった 70	B. どちらかといえば活 発だった 26	C. どちらともいえない 6	D. どちらかといえば活 発だった 1	E. まったく活発ではな かった 0					
10	この演習(輪講等)の進み具合は適切でしたか。	A. 非常に早かった 20	B. どちらかといえば早 かった 12	C. 適切だった 63	D. どちらかといえば遅 かった 8	E. 非常に遅かった 0					
11	この演習(輪講等)の内容は理解できましたか。	A. 良く理解できた 48	B. だいたい理解できた 47	C. どちらともいえない 8	D. あまり理解できな かった 0	E. 理解できなかった 0					
12	この演習(輪講等)に参加することで、何を一番身につけることが出 来たと思いますか。	A. コミュニケーション能 力 9	B. プレゼンテーション 能力 32	C. 日本語の表現力 6	D. 調べ学ぶ能力 15	E. 文献の読解力 4	F. 専門的知識 26	G. 論文・報告書・レ ポートの作成能力 4	H. 基本的なものの見 方・考え方 6	I. 特になし 1	
13	この演習(輪講等)に参加することで、知的満足感を得ることができ ましたか。	A. 大いに得られた 59	B. どちらかといえば得 られた 36	C. どちらともいえない 4	D. どちらかといえば得 られなかった 3	E. まったく得られな かった 0					
14	研究を進めるに当たり、研究室・実験室の実験機器やPC等は充実 していますか。	A. 充実している 43	B. まあ充実している 38	C. どちらともいえない 10	D. どちらかといえば不 足している 10	E. 不足している 1					
15	今年度の学会発表回数(ポスター発表含む)は何回ですか。(※本 人が発表しない参加は除きます。)	A. 5回以上 8	B. 4回 8	C. 3回 12	D. 2回 25	E. 1回 21	F. 今年度は無し 29				
16	今年度の論文採録数は何本ですか。(※ファーストオーサー以外も 含みます。投稿数ではありません。)	A. 3本以上 4	B. 2本 3	C. 1本 11	D. 今年度は無し 84						
17	今年度の学会発表・論文採録を通じて、受賞はありましたか。	A. 2回以上 3	B. 1回 7	C. 今年度はなし(発表 や投稿をしていない場 合も含む) 92							
18	研究発表奨励金で学会発表へ行った際、交通費と宿泊費と学会 参加費を足した金額は奨励金で賄えましたか。	A. 今年度の現時点で 奨励金制度を活用して いない 39	B. 受給額の2割以上 余った 2	C. 受給額の1割~2割 余った 4	D. ほぼ同額(±1割以 内)だった 24	E. 1割~2割自己負担 だった 11	F. 2割以上自己負担 だった 22				
19	今年度の発表にあたって困ったことはありましたか。	A. 今年度は現時点で 発表を行っていない 27	B. 研究が思うように進 まない 20	C. 日本語の論文が書 けない 1	D. 英語の論文が書け ない 4	E. 英語の質疑応答が できない 10	F. 旅費等の資金が無 い 13	G. 特になし 24	H. その他 3		

2019年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」(博士前期課程: 108名回答)

2020.02集計

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
20	今年度の学会発表を行ってどのような感想がありますか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない	B. さまざまなコメントがもられた	C. さまざまな人と知り合えた	D. 異国の文化を体験できた	E. もっと学会発表したくなった	F. もう学会発表したくない				
		36	42	12	4	7	2				
21	在職やアルバイトの週当たりの出勤日数は平均何日ですか。	A. 5日以上	B. 4日	C. 3日	D. 2日	E. 1日	F. 当セメスタは勤務していない				
		3	4	22	29	18	27				
22	在職やアルバイトの出勤日の勤務時間は平均何時間ですか。	A. フルタイム	B. 半日(午前のみ、午後のみ など),	C. 4~3時間	D. 3~2時間	E. 2~1時間	F. 1時間以内	G. 当セメスタは勤務していない			
		19	20	21	8	7	2	26			
23	当セメスタのTA受け持ち授業は1週間に何科目(何分)ですか。	A. 5科目(約450分),以上	B. 4科目(約360分),	C. 3科目(約270分),	D. 2科目(約180分),	E. 1科目(約90分),	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		4	10	14	26	7	42				
24	TA受け持ちは研究や授業に影響がありますか。	A. 影響は無く受け持ちを増やしても大丈夫	B. 影響は無いが受け持ちを増やしたくない	C. どちらともいえない	D. やや負担に感じるが受け持ちを減らさない	E. 負担が多くて減らさないと影響がある	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		11	28	16	11	2	35				
25	現在の仕事・職場は、大学院との両立は難しいですか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. 全く問題ない	C. ほぼ問題ない	D. どちらともいえない	E. やや難しい	F. とても難しい				
		87	4	4	4	2	2				
26	大学院で学んでいることが、現在の仕事に役立っていたり、フィードバックされていますか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. とても役にたっている	C. 将来役に立つと思う	D. どちらともいえない	E. 将来役に立ちそうもない	F. ほとんど役に立たない				
		93	1	5	2	0	0				
27	講義の時間以外に、授業(講義)科目(履修科目全部)のために一週間に平均してどれくらい勉強しましたか。	A. 2時間以上	B. 2~1時間	C. 1時間~30分	D. 30分以下	E. 特にしなかった					
		46	14	12	7	22					
28	教員は意欲的に講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)を行っていましたか。	A. たいへん意欲的だった	B. どちらかといえば意欲的だった	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば意欲的ではなかった	E. まったく意欲的ではなかった					
		65	23	12	0	0					
29	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)の進み具合は適切でしたか。	A. 非常に早かった	B. どちらかといえば早かった	C. 適切だった	D. どちらかといえば遅かった	E. 非常に遅かった					
		15	10	72	3	0					
30	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)の内容は理解できましたか。	A. 良く理解できた	B. だいたい理解できた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば理解できなかった	E. まったく理解できなかった					
		39	50	11	0	0					
31	講義(履修した授業(講義)科目全般を通じて)を受講することで、知的満足感を得ることができましたか。	A. 大いに得られた	B. まずまず得られた	C. どちらともいえない	D. どちらかといえば得られなかった	E. まったく得られなかった					
		51	35	13	1	0					
32	当セメスタの1週間の通学日数は何日ですか。(※学外研究に通う日数も合わせてカウント)	A. 週6~5日	B. 週4~3日	C. 週2~1日							
		74	20	7							
33	当セメスタの履修科目数はいくつですか。(※授業(講義)科目のみ、演習(研究指導)科目を除く)(※他研究科聴講、学部聴講含む)	A. 10科目以上	B. 9~7科目	C. 6~4科目	D. 3~1科目	E. 当セメスタで授業(講義)科目は履修していない					
		1	5	14	47	34					
34	セメスタ(学期)あたり履修できる科目数は満足ですか。(※授業(講義)科目のみ、演習(研究指導)科目を除く)	A. 現在の開講科目数で十分	B. 現在の開講科目数でまあ足りている	C. どちらともいえない	D. 現在の開講科目数は少ないと感じている	E. もっと開講科目数を増やして欲しい					
		54	18	20	5	4					
35	強いて言えば、演習(輪講など研究指導)科目と授業(通常の講義)科目のどちらを重要視していますか。	A. 演習(輪講など研究指導)科目	B. 授業(通常の講義)科目								
		94	4								
36	博士前期課程修了後の進路はどのようにお考えですか。	A. 本学博士後期課程に進学	B. 他大学博士後期課程に進学	C. 企業に就職(研究職)	D. 企業に就職(職種問わず)	E. 公務員	F. 教員	G. 家業を継ぐ	H. 起業する	I. 現時点で未定	
		3	0	37	50	4	2	0	0	4	
37	現在の大学院に在学していることに対する満足度は総合的に考えてどれくらいですか。	A. とても満足している(100点),	B. 満足している(80点以上),	C. まあ満足している(70点以上),	D. どちらともいえない(60点以上),	E. あまり満足していない(40~59点),	F. どちらかという不満がある(20~39点)	G. 不満がある(0~19点)			
		16	48	26	7	0	1	1			

2019年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」(博士後期課程: 5名回答)

2020.02集計

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	専攻を選択してください。	A. 理工学研究科 機能システム 0	B. 理工学研究科 生体医工学 2	C. 理工学研究科 電気電子情報 2	D. 理工学研究科 応用化学 0	E. 理工学研究科 建築・都市デザイン 0	F. 工学研究科 機能システム 1				
2	学年を選択してください。	A. 1年生 0	B. 2年生 4	C. 3年生 1							
3	本研究科を志望された理由を1つ選択してください。	A. 研究内容にもともと関心を持っていたから 2	B. 研究科・専攻のシラバスを読んで面白そうだったから 1	C. 担当教員に教わりた いから 1	D. 将来就職など役に立 つと思ったから 0	E. 教員に勧められたから 1	F. 親に勧められたから 0	G. 先輩に勧められたから 0	H. 友達が進学するから 0	I. なんとなく 0	J. その他 0
4	大学院進学を考えるのにどのような情報 が一番役立ったか、1つ選択してください。	A. 大学院ウェブサイト 1	B. 入試案内 0	C. 研究室教員の紹介 4	D. 学内掲示物 0	E. 就職支援室 0	F. 一般の本・雑誌 0	G. その他 0			
5	大学院進学を決めた(思い立った)のはいつ ですか。	A. 大学入学前 0	B. 学部1年 0	C. 学部2年 0	D. 学部3年 1	E. 学部4年 1	F. 大学卒業後 0	G. 修士1年 0	H. 修士2年 1	I. 修士修了後 2	
6	演習(輪講等)の時間以外に、当セメスタ でこの演習のために一週間に平均してど れぐらい勉強しましたか。	A. 2時間以上 4	B. 2~1時間 1	C. 1時間~30分 0	D. 30分以下 0	E. 特にしない 0					
7	指導教員は意欲的に演習(輪講等)を指 導していましたか。	A. たいへん意欲的だっ た 3	B. どちらかといえば意欲 的だった 2	C. どちらともいえない 0	D. どちらかといえば意欲 的ではなかった 0	E. まったく意欲的ではな かった 0					
8	指導教員は院生に演習(輪講等)への積 極的な参加・発言を促していましたか。	A. 十分促していた 2	B. どちらかといえば促し ていた 2	C. どちらともいえない 1	D. どちらかといえば促し ていなかった 0	E. まったく促していなかつ た 0					
9	この演習(輪講等)は、教員や院生同士の 意見交換、発表、討論等により、活発な演 習だったと思いますか。	A. たいへん活発だった 3	B. どちらかといえば活発 だった 2	C. どちらともいえない 0	D. どちらかといえば活発 だった 0	E. まったく活発ではな かった 0					
10	この演習(輪講等)の進み具合は適切でし たか。	A. 非常に早かった 2	B. どちらかといえば早 かった 0	C. 適切だった 2	D. どちらかといえば遅 かった 1	E. 非常に遅かった 0					
11	この演習(輪講等)の内容は理解できまし たか。	A. 良く理解できた 2	B. だいたい理解できた 2	C. どちらともいえない 1	D. あまり理解できなかつ た 0	E. 理解できなかつた 0					
12	この演習(輪講等)に参加することで、何 が一番身につけることが出来たと思いま すか。	A. コミュニケーション能 力 0	B. プレゼンテーション能 力 1	C. 日本語の表現力 0	D. 調べ学ぶ能力 0	E. 文献の読解力 0	F. 専門的知識 0	G. 論文・報告書・レポー トの作成能力 2	H. 基本的なものの見方・ 考え方 1	I. 特になし 1	
13	この演習(輪講等)に参加することで、知 的満足感を得ることができましたか。	A. 大いに得られた 2	B. どちらかといえば得ら れた 2	C. どちらともいえない 1	D. どちらかといえば得ら れなかった 0	E. まったく得られなかつ た 0					
14	研究を進めるに当たり、研究室・実験室 の実験機器やPC等は充実していますか。	A. 充実している 3	B. まあ充実している 1	C. どちらともいえない 0	D. どちらかといえば不足 している 0	E. 不足している 1					
15	今年度の学会発表回数(ポスター発表含 む)は何回ですか。(※本人が発表しない 参加は除きます。)	A. 5回以上 0	B. 4回 0	C. 3回 0	D. 2回 1	E. 1回 0	F. 今年度は無し 4				
16	今年度の論文採録数は何本ですか。(※ ファーストオーサー以外も含まれます。投 稿数ではありません。)	A. 3本以上 0	B. 2本 0	C. 1本 2	D. 今年度は無し 3						
17	今年度の学会発表・論文採録を通じて、 受賞はありましたか。	A. 2回以上 0	B. 1回 0	C. 今年度は無(発表や 投稿をしていない場合も 含みます) 5							
18	研究発表奨励金で学会発表へ行った際、 交通費と宿泊費と学会参加費を足した金 額は奨励金で賄えましたか。	A. 今年度の現時点で奨 励金制度を活用してい ない 3	B. 受給額の2割以上余 った 0	C. 受給額の1割~2割 余った 0	D. ほぼ同額(±1割以 内)だった 1	E. 1割~2割自己負担 だった 1	F. 2割以上自己負担だ った 0				
19	今年度の発表にあたって困ったことはあ りましたか。	A. 今年度は現時点で発 表を行っていない 3	B. 研究が思うように進ま ない 0	C. 日本語の論文が書け ない 1	D. 英語の論文が書けな い 1	E. 英語の質疑応答がで きない 0	F. 旅費等の資金が無い 0	G. 特になし 0	H. その他 0		

2019年度 理工学・工学研究科「教育・研究等改善アンケート」(博士後期課程: 5名回答)

2020.02集計

No.	設問文	項目名									
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
20	今年度の学会発表を行ったどのような感想がありますか。	A. 今年度は現時点で発表を行っていない	B. さまざまなコメントがもたらえた	C. さまざまな人と知り合えた	D. 異国の文化を体験できた	E. もっと学会発表したくなった	F. もう学会発表したくない				
		4	1	0	0	0	0				
21	在職やアルバイトの週当たりの出勤日数は平均何日ですか。	A. 5日以上	B. 4日	C. 3日	D. 2日	E. 1日	F. 当セメスタは勤務していない				
		1	0	1	0	1	2				
22	在職やアルバイトの出勤日の勤務時間は平均何時間ですか。	A. フルタイム	B. 半日(午前のみ、午後のみ など).	C. 4~3時間	D. 3~2時間	E. 2~1時間	F. 1時間以内	G. 当セメスタは勤務していない			
		2	1	0	0	0	0	2			
23	当セメスタのTA受け持ち授業は1週間に何科目(何分)ですか。	A. 5科目(約450分),以上	B. 4科目(約360分),	C. 3科目(約270分),	D. 2科目(約180分),	E. 1科目(約90分),	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		0	0	0	0	0	5				
24	TA受け持ちは研究や授業に影響がありますか。	A. 影響は無く受け持ちを増やしても大丈夫	B. 影響は無いが受け持ちを増やしたくない	C. どちらともいえない	D. やや負担に感じるが受け持ちを減らさないで大丈夫	E. 負担が多くて減らさないと影響がある	F. 当セメスタでは受け持ち無し				
		0	0	1	0	0	4				
25	現在の仕事・職場は、大学院との両立は難しいですか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. 全く問題ない	C. ほぼ問題ない	D. どちらともいえない	E. やや難しい	F. とても難しい				
		4	0	1	0	0	0				
26	大学院で学んでいることが、現在の仕事に役立っていたり、フィードバックされていますか。(※在職中の社会人で無い場合、Aを選択してください。アルバイトは除きます。)	A. 在職していない	B. とても役にたっている	C. 将来役に立つと思う	D. どちらともいえない	E. 将来役に立ちそうもない	F. ほとんど役に立たない				
		4	1	0	0	0	0				
27	博士後期課程修了後の進路はどのようにお考えですか。	A. 大学講師	B. 大学非常勤講師	C. 企業に就職(研究職)、既に在職中	D. 企業に就職(研究職以外)、既に在職中	E. 公務員	F. 教員	G. 家業を継ぐ	H. 起業する	I. ポスドク	J. 現時点で未定
		1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
28	現在の大学院に在学していることに対する満足度は総合的に考えてどれくらいですか。	A. とても満足している(100点)	B. 満足している(80点以上)	C. まあ満足している(70点以上)	D. どちらともいえない(60点以上)	E. あまり満足していない(40~59点)	F. どちらかという不満がある(20~39点)	G. 不満がある(0~19点)			
		1	2	0	1	0	0	0			